

## 1 学期終了

6月の学校再開から2か月程の1学期終了となりました。3月からの休校中や学校再開に向けて分散登校が始まった頃は、感染に対する恐怖や不安が大きかったことでしょう。しかし、皆さんの日々の用心のおかげで、生徒の皆さんや先生方の中にコロナウイルスに感染する者がなく、こうやって学校生活を送られることにとっても感謝しています。この2か月間、生徒の皆さんにはいろいろな活動ができなくなるという我慢をお願いしてきました。それにもかかわらず、欠席が少ない状況で元気に登校し、勉強や運動に励む皆さんの姿を見ると、学校というところはとてもいい場所、世の中で一番大切にしなければいけない場所なのだ改めて感じました。不自由な生活を強いる中でも、皆さんの活動を見てうれしかったことがいくつもあります。今年は今までも増して、あいさつがすごくいい。マスク越しでなかなか笑顔を見ることができないことも多くありますし、大きな声であいさつをすることも難しい状況ですが、目と目が合ってあいさつをしてくれる生徒がすごく多くてうれしくてたまりません。また、いろいろな活動も工夫を凝らし取り組んでくれました。1年生では体育祭が中止になり、中学校初めてのクラス団結の場がなくなってしまいました。しかし、学年レクで工夫を凝らし、規模は小さいながらも体を動かしながら、みんなで作り上げ楽しむことを経験してくれました。2年生は野外活動が中止となりましたが、実行委員を中心に準備を進め校内キャンプという素晴らしい催しを行ってくれました。ファイヤーに見立てた井桁まで生まれ、若いエネルギーを感じる学年の取組となりました。3年生にとっては最後の学年、学級なのに思い出に残る行事や大会までがなくなり、さぞかし寂しい思いをしていることでしょう。修学旅行も延期に次いで行先変更になり、戸惑うことも多くあったと思います。しかし、3年生の君たちが毎日の生活で見せる、明るく元気に勉強や運動に励み、部活動にしっかり取り組んでいる姿が、私にとって一番うれしく感じました。さて、夏休みが2週間足らずに短縮となりました。愛知県には緊急事態宣言も発表されています。これからも用心を怠らずに規則正しい生活を心がけましょう。短い夏休みですから、生活リズムは今までと変えずに21日からの2学期に備えましょう。2学期は修学旅行、大中フェスタ、合唱祭などの行事を、先生と生徒で協力し知恵を出し合って、最善の方法を考え実現させていきましょう。



＜2年生校内キャンプの様子＞

## 生徒意見発表

※終業式を全校で行えませんでしたので、紙面でのみ掲載します。

「僕らのスタートダッシュ」

1年 2組 氏名 狩野 悠義

みなさんは、1学期を振り返ってどう思いましたか。初めての定期テストや学年レクなどたくさん行事がありましたね。その中で僕が一番心に残っていることは、学年レクで行なったお邪魔玉入れです。お邪魔玉入れでは、みんなが協力し、楽しんでいたのも、計画して良かったなと思いました。また、各クラスしっかり応援していて、チームワークがいいなと思いました。みなさんは、もう違う小学校だった人と仲良くなっていますか。もっといろいろな人と仲良くなって、最高のクラスを作りたいです。一方、僕が一番気になるのは、メリハリがつけられていないところです。チャイムが鳴っているのに、となりの人や後ろの人と話している人がたくさんいます。他にも放課中にろうかに出て他のクラスの人と話している人や体育の授業が終わった後にしゃべって帰ってくる人などがとても気になります。今すぐ直し、メリハリをつけられるようにしましょう。よかったこともたくさんあります。委員会の仕事への取り組み方です。委員会で話し合ったことなどをみんなに伝えたり、当番活動を責任をもって行ったりして、学校をよくするための仕事に真剣に取り組んでいると思います。他にも、級訓発表では、級訓でどんなクラスにしたいかよく伝わり、工夫した発表もあったので、とても分かりやすかったです。いろいろな人の個性が出て、とてもいい発表でした。そしていいスタートダッシュを切ることができていたと思います。1学期を振り返



って良かったところと悪かったところを振り返り、良かったところはそのまま続け、悪かったところは直せるように頑張りましょう。そして、メリハリをつけ、これからも楽しい学校生活を送りましょう。

### 「今だからこそ」

### 2年 2組 氏名 中谷 爽花



2年生といえば、やっぱり野外活動。新しいクラスの仲間たちと思い切り楽しんで素敵な思い出をたくさん作りたい。部活動では少しでも先輩方に追いつけるように練習して、夏の大会に出られるように精一杯努力しようという自分なりの希望と目標をもって、新学年を迎えるつもりでいた。でも、なかなか始まらない新学期。5月に入りようやく始まったけれど、運動会と共に野外活動は中止、吹奏楽の大会もやはり中止となってしまい、とにかく残念としか言いようがなかった。そんな中、私は学年集会で「このような状況の中でも学年全体が1つになり、みんなが盛り上がるような楽しい企画を考えていきます。」とあいさつした。その後企画部全員で集まり、いざ計画案を考えることになった時、やりたいことはたくさんあるけれど、何かと制限の多い今、何ができて何ができないのか、話し合いが行き詰まりかけた時に先生が話し合いの輪に加わってくださった。「先生、運動会はできますか？ キャンプのような内容は大丈夫ですか？」との私たちからの質問に、「やろうよ。先生もやりたい！」と先生からの予想外の返答に驚きもあったけど、それ以上に嬉しさが込み上げてきた。そこから先は次々と意見が出て話が盛り上がり、昼放課の短い時間だったけれどもとても楽しい時間だった。校内キャンプが行われることになり、それぞれの担当に分かれ準備が始まった。私たちファイヤー係もどのように行うか？ 隊形は？ 内容は？ などいろいろな話し合いをした。フォークダンスは一定の距離を維持するために棒を使用し、棒を握り合って踊ることになった。8クラス分の棒を準備するのは時間がかかる地道な作業だったけど、授業後に集まり和やかな雰囲気の中で段ボールを丸めて1本1本作り上げていくこの作業も、今だからできる貴重な体験だなと思うことができた。校内キャンプ本番は言うまでもなくとても楽しかった。2年生全員で作ったオリジナルキャンプは、私たちにとって忘れられない思い出になった。

あつという間に過ぎた1学期。学級活動や委員会活動に積極的に関わることができた。部活動では、部長の役を先輩から引き継ぐことになり、大きな責任とプレッシャーを感じている。まだまだ例年とは違う毎日が続く今、そんな今をどう過ごすのか、今だからこそできることは何なのか。これからも周りの仲間たちと意見を出し合い、支え合いながら楽しく前向きに学校生活を送っていきたい。

### 「悔しさをバネに」

### 3年 1組 森 万里奈



「一に練習・音に集中・響け大中」これを目標に、私は約2年半、吹奏楽部の練習に励んでいました。また、部長になってからは、より練習に励み、コンクールで金賞を取るためにパートリーダーと話し合い、全員で一生懸命練習してきました。しかし、コロナウイルスの影響により、コンクールは中止となってしまいました。私たち3年生にとっては最後の大会。はじめもつけられないまま引退するのか。先輩方と約束した金賞が果たせず、今までの努力は水の泡になってしまうのか。そう考えてしまい、とても悲しく悔しかったです。でも、こんなところで立ち止まってはいただけないと思った私は、3年生と話し合い、次の部長やパートリーダーを決め、1年生の体力づくりをしたり、担当楽器を決めるなど、次の代へ、私たちができる精一杯のことをしました。そして8月1日、私たちは引退しました。後輩からは感謝の気持ちと、これから先輩として吹奏楽部を引っ張っていくという決意を聞きました。私は後輩たちの思いを知って、これからの活動を頑張りたいと思いました。また、愛知県吹奏楽連盟が小学6年生、中学3年生、高校2・3年生限定で、スマホ動画によるソロコンテストを開催することを発表しました。この大会が私の吹奏楽部の活動としては最後の大会になります。悔いのないように、一生懸命頑張りたいです。そして今からは、本格的に受験勉強が始まります。今年は夏休みが短く、学校の授業もあり、今まで習ってきたことを復習することが難しくなってしまうと思います。なので、授業のある日の空いている時間などを有効に使って、勉強をしたいです。それから、コンクールに出られなかった悔しさをバネにして、受験では悔いのない勉強や取り組みをして、第一志望校に合格できるように頑張りたいです。